再評価結果（平成２４年度事業継続箇所）

担　当　課：道路局環境安全課
担当課長名：安藤　淳

事業名	地域高規格道路　山口宇部小野田連絡道路 主要地方道山口宇部線（朝田～江崎）	事業区分	地方道	事業主体	山口県
起終点	自：山口県山口市朝田 至：山口県山口市江崎			延長	１４．１km

事業概要

地域高規格道路「山口宇部小野田連絡道路」は、山口市から宇部市を経由し山陽小野田市に至る道路である。このうち山口宇部線は、「山口」と交通の要衝「小郡」、県内有数の産業集積地である「宇部・山陽小野田」を結び、中国縦貫自動車道等と連結することにより高速道路ネットワークを形成する道路である。

Ｈ９年度事業化	Ｈ９年度都市計画決定 （Ｈ２０年度変更）	Ｈ１２年度用地着手	Ｈ１０年度工事着手

全体事業費	４９８億円	事業進捗率	８９％	供用済延長	１４．１km
計画交通量	１６，５００台／日				

費用対効果分析結果	Ｂ／Ｃ	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) １．８ (残事業) １．３	50/570 億円 事　業　費：48/555 億円 維持管理費：1.4/ 15 億円	853/1,051 億円 走行時間短縮便益： 53/855 億円 走行経費減少便益：7.0/134 億円 交通事故減少便益：3.6/ 62 億円	平成２３年

感度分析の結果

【事業全体】交通量：B/C=1.7～2.1(交通量±10%)
事業費：B/C=1.7～2.1(事業費±10%)
事業期間：B/C=1.6～2.1(事業期間±20%)

【残事業】交通量：B/C=1.2～1.4(交通量±10%)
事業費：B/C=1.2～1.4(事業費±10%)
事業期間：B/C=1.2～1.3(事業期間±20%)

事業の効果等

・山口市と宇部市、山陽小野田市を連絡し都市間の連携を強化する。
・新幹線、空港、港湾等の交通拠点との連絡強化による観光、産業の活性化を図る。
・定時性、安全性・快適性の向上が期待できる。
・災害や交通事故発生時における迂回ルートの確保による不安解消効果が期待できる。

関係する地方公共団体等の意見

・山口市の新市建設計画、合併支援道路に位置付けられている。
・山口宇部小野田間地域高規格道路建設促進期成同盟会から整備要望がある。

事業評価監視委員会の意見

特になし

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

山口市と周辺５町が合併し、新しい山口市となり、行政域が広域化している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

本線部を平成２３年７月に供用開始しており、中国縦貫自動車道と接続するJCT部の整備を進めている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き工事を推進し、平成２７年度末の完成供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

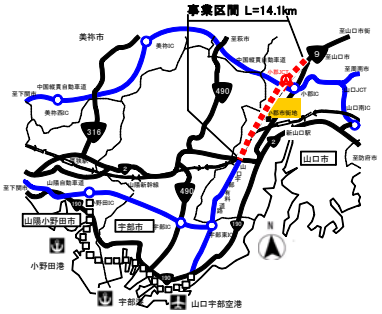
鋼少数主桁橋やＰＣコンポ橋、耐候性鋼材の採用により、今後ともコスト縮減を図る。

対応方針	事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案し、整備効果も期待できることから事業継続とする。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。